

STOP 糖尿病

H30年 糖尿病ケアチーム通信 第9号

経口血糖降下薬配合剤について

糖尿病治療薬の合剤は8種類12製品発売されていましたが、11/20に『トラディアンス配合錠』、11/21に『メトアナ配合錠』の2種類が新しく発売となりましたので、各薬剤の特徴・用法等について紹介します。

～トラディアンス配合錠AP・BP～

DPP-4阻害薬トラゼンタ（成分：リナグリプチン）とSGLT2阻害薬ジャディアンス（エンパグリフロジン）の合剤

- ・トラゼンタ・・・膵臓に働くインクレチンというホルモンの働きを強め血糖値を下げる薬剤
胆汁排泄型のため腎機能障害があっても同一量で投与可能
- ・ジャディアンス・・・腎臓における血液中から尿中への糖の排出を促進し血糖を下げる薬剤

組成：トラディアンス配合錠AP・・・リナグリプチン5mg/エンパグリフロジン10mg
トラディアンス配合錠BP・・・リナグリプチン5mg/エンパグリフロジン25mg

適応：2型糖尿病

用法：通常1日1回1錠を朝食前又は朝食後

副作用：低血糖（他の糖尿病薬との併用で）、便秘、脱水、尿路性器感染、発疹、急性膵炎



～メトアナ配合錠LD・HD～

ビグアナイド薬メトホルミン塩酸塩とDPP-4阻害薬スイニー（成分：アナグリプチン）の合剤

- ・メトホルミン・・・肝臓が糖を作り出す作用を抑制し筋肉などに働きかけインスリンの作用を高める薬剤
腎機能障害のある患者（男性Cr1.3mg/dl、女性Cr1.2mg/dl以上）は注意が必要である
ヨード造影剤使用の前後は乳酸アシドーシス防止のため休薬が必要である
- ・スイニー・・・膵臓に働くインクレチンというホルモンの働きを強め血糖値を下げる薬剤

組成：メトアナ配合錠LD・・・メトホルミン塩酸塩250mg/アナグリプチン100mg
メトアナ配合錠HD・・・メトホルミン塩酸塩500mg/アナグリプチン100mg

適応：2型糖尿病

用法：通常1回1錠を1日2回朝夕に経口投与

副作用：下痢、便秘、腹部不快感、低血糖（スルホニル尿素薬と併用で）、乳酸アシドーシス、急性膵炎



メトホルミン含有の合剤

ヨード造影剤を投与することにより造影剤腎症が起こり、腎機能が低下。それによりメトホルミンの排泄が遅延し乳酸アシドーシスを起こす危険性があります。そのためヨード造影剤使用の際は（緊急時を除く）2日前から休薬し検査後48時間は投与を再開しないよう注意が必要です。

メトホルミン含有の合剤・・・メタクト配合錠LD・HD（メトホルミン/ピオグリタゾン）
エクメット配合錠LD・HD（メトホルミン/ビルダグリプチン）
イニシンク配合錠（メトホルミン/アログリプチン）
メトアナ配合錠LD・HD（メトホルミン/アナグリプチン）

～お知らせ～

次回の糖尿病チームの勉強会は、1月21日（月）別館2F講堂にて検査科担当で行います。

文責 薬剤師 木村・新井山